

FOREX 森の土づくり研究室

自然によりそい、品質にこだわる、まじめな土づくり

3つの約束

① 確かな原料で、こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、しっかり確認

開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

③ 責任をもって、サンプル保管

培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。

植え替えのポイント!

株抜き



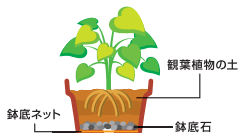
鉢の縁を軽くたたくと、鉢から出しやすくなります。

根ほぐし



根が絡み合っている場合は、1/3くらい崩します。傷んだ古い根は切り取ります。

植えつけ



鉢底ネットを敷き、鉢底石を2〜3cmほど入れて植えつけます。棒などで突いて根の周りに用土が入るようにします。※施肥についてはお手持ちの肥料の使用説明に従ってください。

水やり



鉢底の穴から水が出てくるまで、たっぷり水やりをします。根付くまでの2週間程度までは、日陰で管理します。

栽培のコツ!

植え替えが必要なとき

※目安として2〜3年に1回植え替えをします。



● 鉢底の穴から根が出ているとき。



● 土が硬くなって、水を与えても吸い込まず、あふれ出るようなとき。



● 根詰まりで葉が黄色くなったり、枯れてくるようなとき。

植え替え時期

最低気温15℃以上の5〜9月頃に植え替えます。最適期は5〜6月です。暑さに弱い植物は、少し涼くなる9月中旬頃に植え替えるといいでしょう。

株分け

株が大きくなり、枝葉が密集してきたら株分けをします。根を傷めないように左右の株がほぼ同じ大きさになるように手またはハサミで分けます。



観葉植物の管理表はコチラ!



日当たり	越冬温度
日当たりが良い所を好む	最低0℃以上
半日陰でも良い	最低5℃以上
日陰でも良い	最低10℃以上
水やり	
乾いたら与える	いつも湿った状態にする

植物名	日当たり	越冬温度	水やり	植物名	日当たり	越冬温度	水やり
アジアンタム	★	10℃以上	☞	パキラ	★	5℃以上	☞
アンスリウム	★	10℃以上	☞	ブミラ	★	0℃以上	☞
オリヅルラン	★	5℃以上	☞	ボトス	★	10℃以上	☞
シェフレラ(カボック)	★	0℃以上	☞	ユッカ	★	5℃以上	☞
ゴールドクレスト	★	0℃以上	☞	ワイヤーランツ	★	0℃以上	☞
スパティフィラム	★	10℃以上	☞	クロトン	★	5℃以上	☞
ドラセナ	★	5℃以上	☞				

※環境が異なる場合はこの限りではありません。

(関東標準)

商品名	観葉植物の土
主要配合原料	火山性砂礫、ピートモス、堆肥、パーライト など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.0±0.5
肥料配合の有無	無

● 使用・処分の手に触れない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空気を吸ったり、かき回したりしないようにしてください。
● 腐葉土などの腐植土になるコケやカビ等が発生することがありますが、品質の影響はありません。安心してお使いください。
● 前の古い方トレイがある方は、手袋等をつけて作業を行ってください。



FOREX
森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
Eメール: forex@forex-mori.com
ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>
万一品質に不具合がありました時は、上記フリーダイヤル、Eメールまでお問い合わせください。

観葉植物の土 5ℓ

